学校番号	204

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「現代の国語」　（第一学習社）						
副教材等	新訂版最新国語便覧（浜島書店） 現代文解法のテクニック１（啓隆社）			常用漢字の１・２トライ（浜島書店） 新版高校国語入門標準（第一学習社）			

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「現代の国語」では、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する、基礎的な力を養います。語彙力をつけるために語句の意味調べや漢字の小テストなども実施しますので、地道な努力を惜しまず取り組みましょう。教科書や副読本・ノートなどの学習用具は毎回忘れずに持参してください。
・指示された予習は必ず行いましょう。授業の後には、内容を振り返って理解できたこと・疑問に思ったことなどを整理し、復習してください。
・授業中に、他者と意見を交換したり、皆の前で発表したりする機会も設けます。積極的な取り組みや発言を期待します。
・提出物の期限は必ず守りましょう。小テスト及び定期考査には学習計画を立てて臨んでください。
皆さんが日々自分で計画を立て、主体的に学ぶことが大切です。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
・他者理解や自己表現のための言語活動に必要な基本的語彙や国語知識は身に付いたかどうか。
【思考力、判断力、表現力等】
・文章の要点をつかみ、論理を的確に捉え、論拠を意識して自分の意見を示したり他者の意見を聞き取ったりすることができるか。
【学びに向かう力、人間性等】
・毎時間学習用具持って授業に出席し、その日の授業内容を理解しているかどうか。
・さまざまな課題に主体的に取り組み、期限内に仕上げて提出することができるか。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会での生活に必要な国語の基礎的な知識や技能を身につけ、使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	ことばを通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方・感じ方・考え方を深めたりしながら、ことばの持つ価値への認識を深めようとしていると共に、言語感覚やことばの効果的な使い方を身につけようとしている

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	思考力、判断力を培う① ［教材］ 「「生きもの」として生きる」 「水の東西」 「羅生門」	a：目的に応じた語句や文体の使い方を身につける b：[　読　]文脈に沿って論理的に読み取ることができる。 c：ことばやコミュニケーションや論理的な読み取りの基礎を知り、学びに向かう姿勢を持とうとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 ノート	振り返りシート 提出物
	伝える力を培う① ［教材］ 「話し方の工夫」 「書き方の基礎レッスン」	a：目的や場面に応じた的確でわかりやすい伝え方の基本について理解する b：[　話／聞　]話しことば・書き言葉の違いや特長を知り、的確に話し書くことができる。 c：聞き手が理解しやすい説明の仕方を考え工夫し、過不足なく伝えようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 ノート	振り返りシート 発表
二学期	思考力、判断力を培う② ［教材］ 「無彩の色」 「現代の「世論操作」」 「夢十夜」	a：主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解できる。 b：[　読　]主張と根拠、推論の仕方に着目して文章の論理を捉えることができる。 c：自分の意見や考え方を論述するために、文章の内容や論理の展開などを積極的に捉えようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 ノート	振り返りシート 提出物
	伝える力を培う② ［教材］ 「待遇表現」 「身近な製品の取扱説明書を作成する」	a：敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。 b：[　話／聞　]相手や場に応じた表現が選択できるようになる。 c：教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に取扱説明書を書こうとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 ノート	振り返りシート 発表
三学期	思考力、判断力を培う③ ［教材］ 「不均等な時間」 「城の崎にて」	a：具体的事例から一般論への展開と、対比の構造を手掛かりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解する。 b：[　書　]根拠を持って、自らの主張や意見を文章にまとめることができる。 c：作品に表れたテーマを積極的に読み取り意見をまとめて話し合おうとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 ノート	振り返りシート 提出物
	伝える力を培う③ ［教材］ 「論理的な表現」 「実用的な手紙文の書き方」	a：論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解する。 b：[　読　]複数の文章を比較し、共通点や相違点を捉え考えを深めることができる。 c：互いの主張の相違点を知り、自分の考えを深めようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 ノート	振り返りシート 提出物

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間